

き 本

算数の壁をすらすら攻略！  
小学2年生 時こくと 時間

こた  
答え

- 一つ一つ、自分の答えと見くらべて、合っていたら○をしよう。
- まちがえたら、答えの下のアドバイスやちゅういするところを読んで、もんだいをとき直してできるようにしよう。
- ぜんぶ○になったら、もんだいのページに「できたねシール！」をはろう。

おうちのかたへ  
毎回、つまずきの克服ポイントやほめポイントを記しています。お子さまの学びの手助けになるよう、ご活用ください。



← ていねいに引っぱって ください。

- 1 ① (8時) ② (3時)  
③ (7時) ④ (6時)  
⑤ (11時)

なが  
長い はりが 12を さす ときは、  
みじかい はりが さす 数字を 見て  
「〇時」と いえば よかったね。

- 2 ① (4時半)  
② (9時半)  
③ (10時半)  
④ (2時半)  
⑤ (5時半)

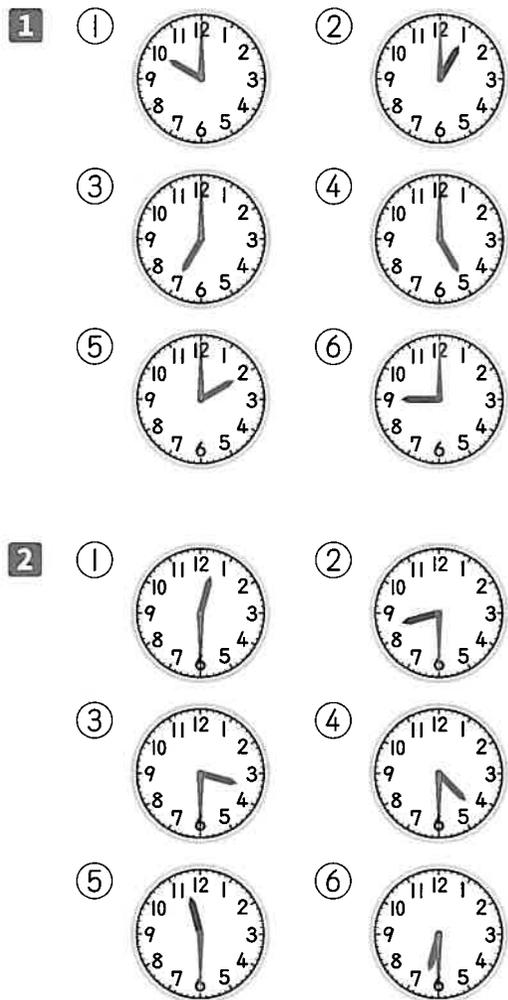
なが  
長い はりが 6を さす ときは、  
「〇時半」と いうよ。みじかい はり  
を よむときは、前の ほうの 数字を  
よむんだよ。

● おうちのかたへ  
2年生では、「時刻」「時間」の意味、簡単な場合の時刻と時刻の間の時間の求め方などを学習します。1年生で、分単位の時計のよみは学習していますが、時計から時刻をよみとることはたやすいことではなく、苦手意識をもっているお子さまも多いでしょう。無理なく2年生の内容に入れるように、復習の問題で1年生の学習内容を理解できているかを確認してあげてください。できなかった問題があれば、まずは学びなおしから始めると、後の理解がスムーズになります。

★ OK!  「何時」「何時半」のよみ方がわかる。

上の「OK!」では、その回でお子さまができるようになったことを、確認できます。お子さまが身に付けた力の証となりますので、答え合わせを終えたら、に✓していきましょう。

## れんしゅう



「〇時半」のとき、長い はりは いつも 6を さすよ。みじかい はりは、たとえば「3時半」のとき、3と 4の まん中を さすよ。

## ● おうちのかたへ

「〇時」のときは、長針は12を、短針は〇を指すことを確認しましょう。一方、「〇時半」のときは、長針は6を、短針は〇と次の数字の中間を指すことを確認しましょう。

★ OK!  「何時」「何時半」のときの、長針と短針の位置がわかる。

## き 本

- 1
- ① (7時15分)  
② (3時40分)  
③ (6時20分)  
④ (12時55分)  
⑤ (1時5分)

みじかい はりで「何時」、長い はりで「何分」をよむよ。みじかい はりが数字と数字の間に あるときは、前の ほうの数字をよむんだよ。

- 2
- ① (8時24分)  
② (4時48分)  
③ (11時9分)  
④ (5時31分)  
⑤ (2時52分)  
⑥ (9時17分)

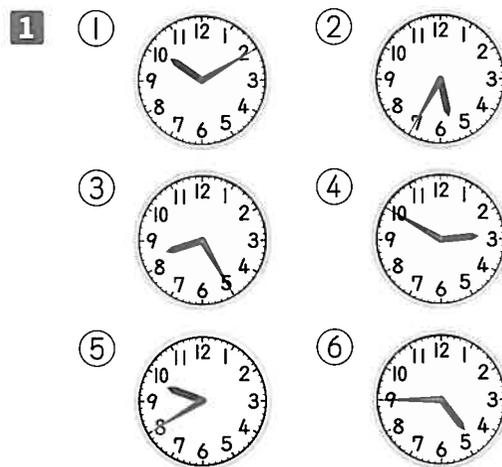
長い はりが数字の 2を さして いれば 10分、4を さして いれば 20分、6を さして いれば 30分だよ。

## ● おうちのかたへ

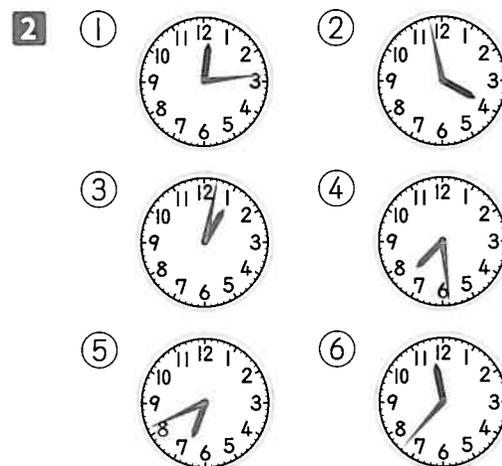
時計をよむときは、まず短針で「〇時」を、次に長針で「〇分」をよみます。短針が数字と数字の間にあるとき、短針に近いほうの数字をよんでしまうお子さまがいます。かならず前のほうの数字をよむことを確認しましょう。

★ OK!  「何時何分」のよみ方がわかる。

## れんしゅう



「〇時何分」のとき、みじかい はりは「〇」の数字とその つぎの数字の 間に かくよ。



## ● おうちのかたへ

長針は「分」を表すので、問題が何分かを確認し、その目盛りを指すようにかきます。短針は「時」を表します。短針の位置を正確にかくことは難しいので、「〇時何分」なら〇とその次の数字の間を指すようにかけていたら正解にしましょう。模型の時計などで長針を動かし、短針がどこを指すかを見せてあげるとよいでしょう。

★ OK!  「何時何分」のときの、長針と短針の位置がわかる。

## おうようだい



「何時」はみじかい はりを、「何分」は長い はりを 見て 考えよう。

## ● おうちのかたへ

1日の生活のようすを見て、それぞれの場面の時刻を答える問題です。日ごろからお子さまに「今日は何時に朝食を食べた?」、「何時何分に家に帰ってきた?」などとたずねて、時刻を意識できる環境をつくってあげましょう。

★ OK!  生活の場面と結びつけて、「何時何分」がわかる。

き 本

1, 60

1 ① 1                      ② 60

2 ① 2                      ② 5  
③ 10                      ④ 16  
⑤ 20                      ⑥ 30  
⑦ 60

時計の長い はりが 1目もり すすむと 1分だよ。時計の 目もりは 60 あるから 1回りすると 60分だね。

● おうちのかたへ

日常生活では、時刻と時間という言葉をもつて使っても通じる場面が多くあります。しかし、時刻と時間のちがいは、このあとで学習する内容の基礎として、きちんと理解しておく必要があります。時刻は時の流れの中にある一瞬を表し、時間は時刻と時刻の間の時の流れの長さを表します。ふだんの生活の中で、「今の時刻は何時何分?」、「宿題をした時間は何分だった?」など、時刻と時間の使い分けを意識させるように心がけてください。

- ★ OK!  時刻と時間の意味がわかる。  
 長い針が1目盛り進む時間がわかる。

けいさん

30

1 ① 30                      ② 30

2 ① (30分)                  ② (30分)  
③ (30分)                  ④ (30分)  
⑤ (30分)

長い はりが 1目もり すすむ 時間は 1分だよ。○時は かわって いないから、長い はりの うごきに ちゅう目すれば いいよ。

● おうちのかたへ

「○時」ちょうどから「○時30分」までの分単位の時間を求める問題です。まずは、長針が1目盛り進む時間が1分であることをしっかり頭に入れ、長針が何目盛り進んだかを確認しましょう。文字盤の数字と数字の間は5目盛りであることに気づけるとよいでしょう。問題を解く中で、「○時」ちょうどから「○時30分」までの時間は30分だと覚えたら、ほめてあげましょう。なお、時間の書き方は「5分間」「30分間」としてもかまいません。

- ★ OK!  「○時」から「○時30分」までの時間がわかる。

けいさん

1 ① 15                      ② 40  
③ 5                        ④ 58

長い はりは 何目もり すすんでいるかな? 長い はりが 1目もり すすむと 1分だよ。

2 ① (20分)                  ② (55分)  
③ (45分)                  ④ (14分)  
⑤ (39分)

● おうちのかたへ

「○時」から「○時○分」までの分単位の時間を求める問題です。長針が1目盛りを進む時間が1分であることをもう一度確認しておきましょう。実際に問題を解くときは、最初は1分刻みに目盛りを数えていくのがよいでしょう。慣れてきたら5分、10分、15分と5分刻みに数え、残りを1分刻みで数えられるようにしましょう。

- ★ OK!  「○時」から「○時○分」までの時間がわかる。

文しょうだい

1 (10分)

長い はりが 1目もり すすむ 時間が 1分だよ。長い はりは 何目もり すすんで いるかな?

2 (30分)

3 (40分)

4 (15分)

長い はりは 15目もり すすんでいるよ。

5 (35分)

6 (42分)

7 (26分)

● おうちのかたへ

文章を読んで、「○時」ちょうどから「○時○分」までの分単位の時間を求める問題です。わからなかったり、間違えたりした場合は、長針が1目盛り進む時間が1分であることを、もう一度確認しましょう。時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、1と4の時計の図を利用したりするなどして考えるようにしましょう。

- ★ OK!  文章を読んで、時間を求める問題が解ける。

けいさん

30

- 1 ① 30 ② 30

なが  
長い はりは 30目もり すすんで  
いるよ。

- 2 ① (30分) ② (30分)  
③ (30分) ④ (30分)  
⑤ (30分)

● おうちのかたへ

「〇時30分」から「〇時」ちょうどまでの分単位の時間を求める問題です。まずは、長針が1目盛り進む時間が1分であることをしっかり頭に入れ、長針が何目盛り進んだかを実際に確認しましょう。

「〇時30分」から〇の次の数字の「〇時」ちょうどまでの時間は30分だと覚えられたら、ほめてあげましょう。

★ OK!  「〇時30分」から「〇時」までの時間がわかる。

けいさん

- 1 ① 20 ② 45  
③ 25 ④ 12

なが  
長い はりが 1目もり すすむ 時間  
が 1分だよ。

- 2 ① (10分) ② (25分)  
③ (45分) ④ (20分)  
⑤ (24分)

● おうちのかたへ

「〇時〇分」から「〇時」や「〇時〇分」までの分単位の時間を求める問題です。長針が何目盛り進んだかに着目して求めることを確認させましょう。また、慣れてきたら、長針が文字盤の数字を1つ進む時間が5分であることに気づかせてあげるとよいでしょう。5分、10分、15分と、区切ってよむことで、目盛りを速く数えられることを教えてあげてもよいでしょう。

★ OK!  「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」までの時間がわかる。

文しょうだい

- 1 (20分)

なが  
長い はりが 1目もり すすむ 時間  
が 1分だよ。長い はりは 20目もり  
すすんで いるね。

- 2 (30分)

- 3 (45分)

- 4 (28分)

- 5 (15分)

- 6 (10分)

- 7 (24分)

- 8 (23分)

● おうちのかたへ

文章を読んで、「〇時〇分」から「〇時」や「〇時〇分」までの分単位の時間を求める問題です。難しく感じるお子さまもいるかもしれませんが、長針が1目盛り進む時間が1分であることを、もう一度確認するとよいでしょう。

時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、1と5の時計の図を利用したりするなどして考えるようにしましょう。

★ OK!  文章を読んで、時間を求める問題が解ける。

き本レベル

- 1 ① (50分) ② (35分)  
③ (35分)

なが  
長い はりが 1目もり すすむと  
1分だよ。

- 2 (43分)

なが  
長い はりは 43目もり すすんで  
いるね。

はってんレベル

- 3 ① (30分) ② (43分)  
③ (24分)

- 4 ① (28分)  
② (ア)

とけい  
時計の 図に、デジタル時計の 時こく  
を あらわす はりを かきこんで 考  
えると わかりやすいよ。

● おうちのかたへ

「〇時〇分」から「〇時〇分」までの分単位の時間を求めるまとめの問題です。はってんレベルの問題は、教科書で学ぶより少し難しい問題もあります。できていたら、たくさんほめてあげましょう。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見て、前のページにもどって解きなおしをするとよいでしょう。

★ OK!  「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間がわかる。

き 本

60, 1, 120, 2

- 1 ① 1                      ② 2  
 2 ① 1                      ② 60  
    ③ 60                    ④ 120  
    ⑤ 120                  ⑥ 3

1時間は 60分だよ。

● おうちのかたへ

「1時間=60分」の関係は、言葉だけで説明するのではなく、実際に模型の時計などの針を操作させると、お子さまは理解しやすくなるでしょう。このとき、長針が1周する間に、短針は文字盤の次の数字まで進んでいることに気づけたら素晴らしいですね。また、操作も1回だけで終わらせるのではなく、別の1時間についても同じ操作を行い、「1時間=60分」であることをしっかり確認しましょう。

★ OK!  時間と分の関係がわかる。

けいさん

- 1 ① 2                      ② 4

長い はりが 1回<sup>まわ</sup>ると 1時間<sup>じかん</sup>だね。みじかい はりは、長い はりが 1回<sup>まわ</sup>る 間<sup>あいだ</sup>に、つぎの 数字<sup>すうじ</sup>まで すすんで いるよ。

- 2 ① (3時間)  
 ② (5時間)

文しょうだい

- 1 (1時間)

みじかい はりが 3から 4まで すすんで いるから、長い はりは 1回<sup>まわ</sup>りした こと<sup>こと</sup>に なるね。

- 2 (2時間)  
 3 (4時間)  
 4 (3時間)

● おうちのかたへ

まずは、長針が1回すると1時間であることと、長針が1回する間に、短針は文字盤の次の数字まで進むことを確認しましょう。そこから、問題を解くには短針に着目すればよいことに気づかせてあげましょう。

★ OK!  「〇時」から「〇時」までの時間がわかる。

けいさん

- 1 ① 1                      ② 3

長い はりが 1回<sup>まわ</sup>る 間<sup>あいだ</sup>に、みじかい はりは つぎの 数字<sup>すうじ</sup>と 数字<sup>すうじ</sup>の間<sup>あいだ</sup>まで すすんで いるよ。

- 2 ① (8時間)  
 ② (2時間)

長い はりは 何回<sup>なんかい</sup> 回<sup>まわ</sup>ったのかな？ みじかい はりに ちゅう目<sup>ちゅうめ</sup>すれば わかるよ。

文しょうだい

- 1 (2時間)  
 2 (3時間)  
 3 (5時間)  
 4 (6時間)

● おうちのかたへ

長針が1回すると1時間であることと、長針が1回する間に、短針は文字盤の次の数字と数字の間まで進むことをもう一度確認しましょう。短針が文字盤の数字と数字の間にあるので、難しく感じるお子さまもいるかもしれません。短針が数字と数字の間にあるときは、かならず前のほうの数字をよむことを確認しましょう。

★ OK!  「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間がわかる。

き 本

60, 80

- 1 ① 60                      ② 70  
    ③ 120                    ④ 90

1時間は 60分だよ。

き 本

1, 1, 30

- 2 ① 1                      ② 1, 10  
    ③ 1, 30                  ④ 2

70分は 60分と 10分<sup>ぶん</sup>に わけられるから 「1時間10分」に なるよ。

● おうちのかたへ

時間を分に、分を時間になおす問題です。「1時間=60分」であることを確認しておきましょう。間違いを少なくするには、答えをいきなり出そうとせずに、「1時間20分→60分と20分→80分」のように、1時間を60分になおしたり、「90分→60分と30分→1時間と30分」のように、60分を1時間になおしたりしてから考えるとよいでしょう。

★ OK!  〇時間〇分と分の関係がわかる。

けいさん

1, 30

- 1 ① 1, 30 ② 1, 30

長い はりは、1回りと 30目もり  
すすんで いるよ。

- 2 ① (1時間30分), (90分)  
② (1時間30分), (90分)  
③ (1時間10分), (70分)  
④ (1時間30分), (90分)  
⑤ (1時間20分), (80分)

長い はりは、1回りと、何目もり  
すすんだかを かんがえよう。

● おうちのかたへ

「1時間=60分」の関係をもとに考える問題です。①②、②④、⑤では、「〇時〇分」から「〇時」までが何分かを先に考えるとよいでしょう。

★ OK!  「〇時」から「〇時〇分」、「〇時〇分」から「〇時」までの時間がわかる。

けいさん

- 1 ① 1, 10 ② 1, 30  
③ 1, 20 ④ 1, 10

長い はりが 1回りと 1時間、  
2回りと 2時間だよ。

- 2 ① (1時間20分)  
② (1時間10分)  
③ (1時間55分)  
④ (1時間15分)  
⑤ (1時間45分)

● おうちのかたへ

長針が1回りする時間が60分で、1時間は60分であるということをもう一度確認しておきましょう。短針の動きや「〇時〇分」の「〇時」に着目して、考えるとよいでしょう。

★ OK!  「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間がわかる。

文しょうだい

- 1 (1時間30分)

- 2 (1時間30分)

長い はりは、1回りと 30目もり  
すすんで いるよ。

- 3 (1時間30分)

- 4 (1時間30分)

- 5 (1時間10分)

長い はりは、1回りと 10目もり  
すすんで いるよ。

- 6 (1時間35分)

- 7 (1時間20分)

- 8 (1時間35分)

● おうちのかたへ

文章を読んで、「〇時」から「〇時〇分」、「〇時〇分」から「〇時」の時間を求める問題です。「1時間=60分」の関係を確認しておきましょう。

時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、①と⑤の時計の図を利用したりするなどして考えてもよいでしょう。

★ OK!  文章を読んで、時間を求める問題が解ける。

き本レベル

- 1 ① (1時間)  
② (1時間30分)  
③ (4時間)

長い はりが 1回りと 1時間だよ。

- 2 (1時間30分)

長い はりは、1回りと 30目もり  
すすんで いるよ。

はってんレベル

- 3 ① (1時間20分)  
② (1時間5分)  
③ (2時間10分)

時計の 図に、デジタル時計の 時刻  
を あらわす はりを かきこんで 考  
えて みよう。

- 4 ① (1時間10分)  
② (公園)

①は、デパートに ついたのは  
1時40分で、出たのは 2時50分 だね。

● おうちのかたへ

「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間を求めるまとの問題です。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見てあげましょう。

★ OK!  「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間がわかる。

けいさん

8, 6

- 1 ① (1時間後) (3時)  
 (1時間前) (1時)  
 ② (3時間後) (8時)  
 (3時間前) (2時)  
 ③ (4時間後) (2時)  
 (4時間前) (6時)

1時間 たつと、長い はりは 1回  
 して もとの いちに もどるよ。この  
 とき みじかい はりは つぎの 数字  
 まで すすんで いるよ。

文しょうだい

- 1 (10時)  
 2 (4時)  
 3 (6時)  
 4 (9時)

● おうちのかたへ

ある時刻から○時間後や○時間前の時刻を求める問題です。すぐに答えを出して終わりにするのではなく、時計を実際に操作させるとよいでしょう。それによって、「1時間は、長いはりが1回して同じところにもどってくる」ということに気づかせてあげるとよいでしょう。

★ OK! □ 「○時」の「○時間後」「○時間前」の時刻がわかる。

けいさん

- 1 ① (1時間後) (9時30分),  
 または(9時半)  
 (1時間前) (7時30分),  
 または(7時半)  
 ② (2時間後) (11時20分)  
 (2時間前) (7時20分)  
 ③ (4時間後) (11時40分)  
 (4時間前) (3時40分)  
 ④ (1時間後) (7時15分)  
 (1時間前) (5時15分)  
 ⑤ (3時間後) (8時55分)  
 (3時間前) (2時55分)

長い はりは、1時間 たつ ごとに  
 1回して もとの いちに もどって  
 くるよ。

文しょうだい

- 1 (4時10分)  
 2 (8時35分)  
 3 (7時50分)  
 4 (1時25分)

● おうちのかたへ

図に示されたものは、その時刻を、声に出してよみましょう。短針が数字と数字の間にあるときは、前のほうをよむことを確認しましょう。また、1時間後と1時間前の時刻が逆になってないか注意してください。お子さまがこの問題にまだ慣れていないようなら、時計を実際に操作して、両方の針の動き方をいっしょに確認しましょう。

★ OK! □ 「○時○分」の「○時間後」「○時間前」の時刻がわかる。

けいさん

- 3, 10, 2, 50  
 1 ① (20分後) (7時20分)  
 (20分前) (6時40分)  
 ② (30分後) (2時30分),  
 または(2時半)  
 (30分前) (1時30分),  
 または(1時半)  
 ③ (10分後) (12時10分)  
 (10分前) (11時50分)

10分後は、長い はりを 右回りに  
 10目もり うごかした 時刻で、  
 10分前は、長い はりを 左回りに  
 10目もり うごかした 時刻だよ。

- 2 ① (15分後) (10時15分)  
 (15分前) (9時45分)  
 ② (45分後) (4時45分)  
 (45分前) (3時15分)  
 ③ (5分後) (6時5分)  
 (5分前) (5時55分)  
 ④ (25分後) (2時25分)  
 (25分前) (1時35分)  
 ⑤ (35分後) (8時35分)  
 (35分前) (7時25分)

● おうちのかたへ

まずは、図に示された時刻を、声に出してよみましょう。「○分後」「○分前」の時刻は、はじめのうちは時計を操作して調べるのがよいでしょう。操作を通して、「○分後」は長針を右回りに、「○分前」は長針を左回りに進めることなどを定着させることができます。

★ OK! □ 「○時」の「○分後」「○分前」の時刻がわかる。

けいさん

- 1 ① (10分後) (5時20分)  
 (10分前) (5時)  
 ② (20分後) (9時45分)  
 (20分前) (9時5分)  
 ③ (30分後) (12時)  
 (30分前) (11時)  
 ④ (20分後) (6時40分)  
 (20分前) (6時)  
 ⑤ (30分後) (3時5分)  
 (30分前) (2時5分)  
 2 ① (15分後) (3時50分)  
 (15分前) (3時20分)  
 ② (25分後) (7時55分)  
 (25分前) (7時5分)  
 ③ (15分後) (11時)  
 (15分前) (10時30分),  
 または(10時半)  
 ④ (25分後) (1時50分)  
 (25分前) (1時)  
 ⑤ (25分後) (9時5分)  
 (25分前) (8時15分)

● おうちのかたへ

まずは、図に示された時刻を、声に出してよみましょう。次に、「○分後」は長針を右回りに、「○分前」は長針を左回りに進めることを確認しましょう。また、「○分後」「○分前」の時刻を求めるとき、時計の文字盤の数字に着目すれば、いちいち1分、2分、3分...と数えなくてもすむことに気づけるとよいでしょう。

★ OK! □ 「○時○分」の「○分後」「○分前」の時刻がわかる。

文しょうだい

- 1 (8時10分)
- 2 (3時15分)
- 3 (11時40分)
- 4 (4時15分)
- 5 (2時55分)
- 6 (10時15分)
- 7 (1時30分)
- 8 (6時45分)

● おうちのかたへ

図に示されたものは、その時刻を、声に出してよみましょう。次に、「○分後」は長針を右回りに、「○分前」は長針を左回りに進めることを確認しましょう。時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、1や5、6の時計の図を利用したりするなどして考えるようにしましょう。

★ OK!  文章を読んで、「○時」や「○時○分」の「○分後」「○分前」の時刻がわかる。

き本レベル

- 1 ① (2時間後) (4時)  
(2時間前) (12時)
- ② (1時間後) (11時50分)  
(1時間前) (9時50分)
- ③ (55分後) (6時55分)  
(55分前) (5時5分)
- ④ (20分後) (11時40分)  
(20分前) (11時)

「○分後」は、長い はりを 右回りに、  
「○分前」は、長い はりを 左回りに  
うごかせば いいよ。

- 2 (3時30分)

はってんレベル

- 3 ① (2時40分)  
② (11時30分),  
または(11時半)
- ③ (3時)
- ④ (7時10分)
- 4 ① (6時55分)  
② (12時20分)

● おうちのかたへ

ある時刻から「○時間後」「○時間前」「○分後」「○分前」の時刻を求めるまとめの問題です。4①は、7時までが15分前なので、7時からさらに5分前だと考えるとよいでしょう。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見てあげてください。全部正解になったら、たくさんほめてあげましょう。

★ OK!  「○時間後・○時間前」「○分後・○分前」の時刻がわかる。

き本

12, 12, 24

- 1 ① 午前 ② 午後  
③ 正午
- 2 ① 12 ② 24  
③ 12, 0

時計の みじかい はりは、1日に  
2回 回るよ。

● おうちのかたへ

1日の時間を理解させるには、時計の針を0時から回しながら、夜中の0時⇒夜明け⇒昼⇒夕方⇒夜中のように1日の流れを確認するのがよいでしょう。このとき、長針が12周すると短針が1周することにふれ、1日の最初の1周が午前、次の1周が午後であることを確認しましょう。また、「朝ご飯の時刻は午前7時」「夜寝る時刻は午後9時」などのように、できるだけふだんの生活の中の具体例をとりあげながら説明することも大切です。なお、正午は、「午前12時」「午後0時」のどちらの表し方もできます。同様に、真夜中の12時は「午後12時」「午前0時」と表すことができます。

★ OK!  午前、午後の意味がわかる。

き本

8, 6, 40

- 1 ① (午前5時)  
② (午後1時)  
③ (午後12時)

夜の 0時から 昼の 12時までが 午  
前、昼の 0時から 夜の 12時までが  
午後だよ。

- 2 ① (午前7時10分)  
② (午後11時50分)  
③ (午後1時35分)  
④ (午前12時15分)  
⑤ (午前2時2分)  
⑥ (午前4時58分)

● おうちのかたへ

午前と午後をきちんと区別できるようにし、同じ8時でも、午前と午後でちがう時刻であることを確認しましょう。ふだんから午前・午後の言葉を使って、起きる時刻や食事の時刻などを確認すると定着しやすくなります。

- 1③は、午前0時とも表します。  
2④は、午後0時15分とも表します。

★ OK!  午前・午後の区別をして「何時何分」がよめる。

けいさん

20

- 1 ① 30 ② 45

長い はりが 1目もり すすむ 時間は 1分だよ。

- 2 ① (30分) ② (50分)
③ (35分) ④ (40分)
⑤ (40分)

はじめに 時計の 時こくを よもう。
みじかい はりが 数字と 数字の 間
にある ときは、前の ほうの 数字
を よむよ。

● おうちのかたへ

単に時間を求める問題で終わらせるのではなく、午前と午後の言葉の意味を確認しながら問題を解くようにしましょう。また、〇時〇分は1日に2回あることから、午前と午後の言葉を使い分けなければならない必要性を感じさせてあげましょう。

OK! □ 午前・午後を区別して、「〇時」や「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」の時間がわかる。

けいさん

5

- 1 ① 7 ② 6

長い はりが 1回りすると 1時間だよ。みじかい はりは、その 間に 数字 1つ分(5目もり分) すすんでいるよ。

- 2 ① (3時間)
② (5時間)
③ (2時間)
④ (11時間)
⑤ (6時間)

正午は、午前12時(午後0時)のことだよ。
時計が あらわす 時こくが 午前から 午後、午後から 午前に かわっている もんだいもあるから 気をつけてね。

● おうちのかたへ

午前と午後がそれぞれ12時間であることを確認し、まずは時計の示す時刻を声に出してよみましょう。難しいようであれば、長針の位置は変わっていないことから、短針の動きに着目すればよいことに気づけるとよいでしょう。

OK! □ 午前・午後を区別して、「〇時」や「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」の時間がわかる。

文しょうだい

1 (20分)

長い はりは 何目もり すすんで いるかな?

2 (35分)

3 (35分)

4 (24分)

5 (2時間)

みじかい はりが 10から 12まで すすんで いるから、長い はりは 2回りしたんだね。

6 (6時間)

正午を はさんで、午前から 午後にかわっているよ。夜の 0時から 昼の 12時までが 午前、昼の 0時から 夜の 12時までが 午後だったね。

7 (4時間)

8 (10時間)

● おうちのかたへ

時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、1と5の時計の図を利用したりするなどして考えるようにしましょう。

OK! □ 文章を読んで、午前・午後を区別して、「〇時」や「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」の時間がわかる。

けいさん

1, 30

- 1 ① 1, 30 ② 1, 30

- 2 ① (1時間30分)
② (1時間45分)
③ (1時間20分)
④ (1時間5分)
⑤ (1時間5分)

2⑤は、午前12時まで 5分、午前12時から 午後1時まで 1時間だから、1時間5分になるよ。

● おうちのかたへ

午前と午後がそれぞれ12時間であることを確認し、まずは時計の示す時刻を声に出してよみましょう。時計を実際に動かして考えてもよいですが、最初の問題のように、数直線の図を使った解き方もわかりやすいですね。

OK! □ 午前・午後を区別して、「〇時」や「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」の時間がわかる。

文しょうだい

1 | 時間30分

家を 出た 時こくは 9時30分、  
おばさんの 家についた 時こくは  
11時ちょうどだね。

2 (1時間30分)

3 (1時間40分)

4 (1時間50分)

5 (1時間20分)

6 (1時間20分)

7 (1時間15分)

8 (1時間30分)

● おうちのかたへ

文章を読んで、「午前」「午後」のついた「〇時〇分」から「〇時〇分」までの時間を求める問題です。時計を使ったり、1と5の時計の図を利用したりするなどして考えるとよいでしょう。

★ OK!  文章を読んで、午前・午後を区別して、「〇時」や「〇時〇分」から「〇時」「〇時〇分」の時間がわかる。

けいさん

1, 9

- 1 ① (1時間後) (午後1時)  
(1時間前) (午前11時)  
② (3時間後) (午後1時)  
(3時間前) (午前7時)  
③ (5時間後) (午後8時)  
(5時間前) (午前10時)

- 2 ① (1時間後) (午前6時30分),  
または(午前6時半)  
(1時間前) (午前4時30分),  
または(午前4時半)  
② (2時間後) (午前6時15分)  
(2時間前) (午前2時15分)  
③ (4時間後) (午前1時50分)  
(4時間前) (午後5時50分)  
④ (3時間後) (午後3時35分)  
(3時間前) (午前9時35分)  
⑤ (5時間後) (午後4時55分)  
(5時間前) (午前6時55分)

● おうちのかたへ

1時間後と1時間前の時刻が逆になっていないかや、答えに「午前」「午後」をつけ忘れていないかを注意して見てあげてください。

お子さまがこの問題にまだ慣れていないようなら、時計を操作させ、両方の針の動き方を確認するとよいでしょう。このとき、長針はもとの場所にもどってくるので、「〇分」の部分は変わらないことに気づけるとよいでしょう。

★ OK!  午前・午後を区別して、「〇時間後」「〇時間前」の時刻がわかる。

文しょうだい

1 (午前10時)

家を 出た 時こくは 8時ちょうど  
だね。

2 (午後3時)

3 (午後2時)

4 (午前9時)

午後1時の 4時間前の 時こくを 答えれば いいよ。

5 (午後1時40分)

6 (午前11時15分)

1時間後だから、何時〇分の 〇分は かわらないよ。

7 (午前6時10分)

8 (午前10時35分)

● おうちのかたへ

文章を読んで、ある時刻の「〇時間後」「〇時間前」の時刻を「午前」「午後」をつけて答える問題です。正午や午前0時をはさむと、時刻の午前と午後が変わることに気をつけましょう。時計を使ったり、1と5の時計の図を利用したりするなどして考えるようにしましょう。

★ OK!  文章を読んで、午前・午後を区別して、「〇時間後」「〇時間前」の時刻がわかる。

けいさん

2, 10, 1, 50

- 1 ① (30分後) (午前5時30分),  
または(午前5時半)  
(30分前) (午前4時30分),  
または(午前4時半)  
② (20分後) (午後9時20分)  
(20分前) (午後8時40分)  
③ (50分後) (午前12時50分),  
または(午後0時50分)  
(50分前) (午前11時10分)

正午(昼の 12時)は、「午前12時」や  
「午後0時」ということも できるよ。

- 2 ① (10分後) (午前4時45分)  
(10分前) (午前4時25分)  
② (15分後) (午後10時35分)  
(15分前) (午後10時5分)  
③ (20分後) (午前9時)  
(20分前) (午前8時20分)  
④ (30分後) (午後1時40分)  
(30分前) (午前12時40分),  
または(午後0時40分)  
⑤ (35分後) (午後4時)  
(35分前) (午後2時50分)

● おうちのかたへ

「〇分後」は長針を右回りに、「〇分前」は長針を左回りに進めることを確認しましょう。また、答えに「午前」「午後」をつけるのを忘れないように気をつけましょう。

★ OK!  午前・午後を区別して、「〇分後」「〇分前」の時刻がわかる。

文しょうだい

1 (午後4時20分)

2 (午前11時40分)

午前11時から 40分後の 時こくを 答えよう。

3 (午前11時35分)

4 (午後6時15分)

5 (午後1時45分)

電話をおえた 時こくは 午後1時 55分だね。

6 (午前7時)

7 (午後3時10分)

8 (午前12時),  
または(午後0時)

正午(昼の 12時)は、「午前12時」や 「午後0時」という ことも できるよ。

● おうちのかたへ

「○分後」は長針を右回りに、「○分前」は長針を左回りに動かすことを確認しましょう。時計の図がない問題は間違えやすいので、時計を使ったり、1と5の時計の図を利用したりするなどして考えるとよいでしょう。

★ OK! □ 文章を読んで、午前・午後を区別して、「○分後」「○分前」の時刻がわかる。

けいさん

11, 10, 11, 30, 9, 30

- 1 ① (午後3時)
- ② (午後2時)
- ③ (午後3時30分),  
または(午後3時半)
- ④ (午後1時30分),  
または(午後1時半)

- 2 ① (午前12時),  
または(午後0時)
- ② (午前11時)
- ③ (午後1時30分),  
または(午後1時半)
- ④ (午前9時30分),  
または(午前9時半)

正午(昼の 12時)は、「午前12時」や 「午後0時」という ことも できるよ。

- 3 ① (午後2時15分)
- ② (午後1時15分)
- ③ (午後2時45分)
- ④ (午前9時45分)

● おうちのかたへ

「○後」「○前」の時刻が逆になってないか、答えに「午前」「午後」をつけ忘れていないか注意してください。わからなかったり、間違えたりしたときは、時計を使ったり、数直線の図をかいたりして、もう一度確かめてみましょう。

★ OK! □ 午前・午後を区別して、「○後」「○前」の時刻がわかる。

文しょうだい

- 1 ① 30分後  
(とう校(したところ))  
30分前  
(おきた(ところ))
- ② 1時間後  
(昼休み)  
4時間前  
(朝食)
- ③ 30分後  
(公園)  
40分前  
(学校)
- ④ 2時間後  
(ねていた)  
2時間前  
(しゅくだい(をしていた))

夜の 12時から 正午までが 午前,  
正午から 夜の 12時までが 午後だよ。

④は、9時に「ねた」ので、9時半には「ねていた」になるね。

● おうちのかたへ

1日の生活のようすを見ながら、ある時刻の「○後」「○前」の時刻を求めて答える問題です。時計の図に示された時刻が何時何分かを確認し、数直線の図にその時刻が示す位置をかきこむと、間違いが少なくなるでしょう。

★ OK! □ 生活の場面と結びつけて、午前・午後を区別して、「○後」「○前」の時刻がわかる。

き本レベル

- 1 ① (35分) ② (5時間)  
③ (1時間40分)
- 2 ① (午後4時)
- ② (午後3時)
- ③ (午後6時30分),  
または(午後6時半)
- ④ (午後1時30分),  
または(午後1時半)

「○分後」「○時間後」の とき、時計の へりは 右回りに うごかすよ。はんた いに「○分前」「○時間前」の ときは、 へりは 左回りに うごかすよ。

はってんレベル

- 3 ① (2時間)
- ② (1時間20分)
- ③ (1時間30分)
- 4 ① (午前9時45分)
- ② (11時間)

家を 出た 時こくは 午前7時45分,  
家に 帰った 時こくは 午後6時45分だね。

● おうちのかたへ

1日の時間のまとめの問題です。午前・午後の言葉の意味や1日が24時間であることを確認しておきましょう。間違えた場合は、どこでつまづいたのかを見てあげましょう。

★ OK! □ 午前・午後を区別して、1日の時間がわかる。

## 42 かんせいテスト①

88・89  
ページ

- 1 ① 60            ② 24  
     ③ 12            ④ 2

- 2 ① (25分)  
   ② (40分)  
   ③ (2時間)

なが長い はりがはりが 1目もり すすむすすむ じかん時間は 1分だよ。

- 3 ① (午後9時)  
   ② (午後8時20分)  
   ③ (午後9時40分)  
   ④ (午後7時40分)

とけい時計の じ時刻は ごご午後8時40分だね。  
ふんあと「〇分後」「じかんあと〇時間後」の ときとき、とけい時計の  
まわはりは まわ右回りに うごかすようごかすよ。はんた  
ふんまえいに「〇分前」「じかんまえ〇時間前」の ときときは、  
まわはりは まわ左回りに うごかすようごかすよ。

- 4 ① (午前10時20分)  
   ② (25分)  
   ③ (5時間)

### ● おうちのかたへ

時刻と時間のまとめの問題です。100点になるまでがんばりましょう。できなかった問題についてはどこでつまづいたかを見て、一緒に解き方を確認していきましょう。

## 43 かんせいテスト②

90・91  
ページ

- 1 ① (午前7時15分)  
   ② (午後6時40分)

- 2 ① 70            ② 90  
   ③ 120

- 3 ① (午前11時15分)  
   ② (午後1時50分)  
   ③ (午前7時50分)

- 4 なんじかんなんぶん何時間何分 (1時間25分)  
なんぶん何分 (85分)

- 5 (7時間)

いえ家を い出た じ時刻は ごぜん午前8時10分、  
いえ家に かえ帰った じ時刻は  
ご午後3時10分だよ。

- 6 (午前11時20分)

- 7 (午後0時), または(午前12時)

### ● おうちのかたへ

時刻と時間のまとめの問題です。できなかった問題があったら、どこでつまづいたのかを見てあげましょう。

## 44 かんせいテスト③

92・93  
ページ

- 1 ① 1, 10        ② 2

じかん1時間は ぶん60分だよ。

- 2 ① (×)            ② (○)  
   ③ (×)

「7時」や「7時20分」を じ時刻と  
いうよ。また、じ時刻と じ時刻の あいだ間  
を じかん時間と いうよ。

- 3 ① (30分)  
   ② (14分)  
   ③ (1時間6分)

- 4 ① (55分)  
   ② (算数)  
   ③ (音楽)  
   ④ (20分)

### ● おうちのかたへ

問題が解けているかどうかだけでなく、解き方についても見てあげましょう。4の問題がわからなかったり、間違えたりしたお子さまには、数直線の図をかいて示してあげてもよいでしょう。

## 45 3年生の 先どり

94・95  
ページ

1, 60, 60

- 1 ① (5秒)        ② (10秒)  
   ③ (30秒)

なが長い はりがはりが 1目もり すすんだらすすんだら  
びょう1秒だよ。

- 2 ① 60            ② 1

### ● おうちのかたへ

3年生で習う内容の一部を先取りする単元です。3年生では、「秒」の学習をします。「1分=60秒」を知っておくことは、日常生活でも役に立つので、覚えてしましましょう。もちろん、ここですべてを理解する必要はありません。一緒に読み進めながら、楽しく学びにつなげてあげましょう。

